

# 51 大規模崩壊地（加奈木のつえ）の復旧により地域を保全した 大道南山復旧治山事業

高知県（室戸市）



荒廃状況(昭和14年)



現在の状況(平成24年)



練積堰堤工

## ○所在場所

高知県室戸市佐喜浜町大道南山国有林

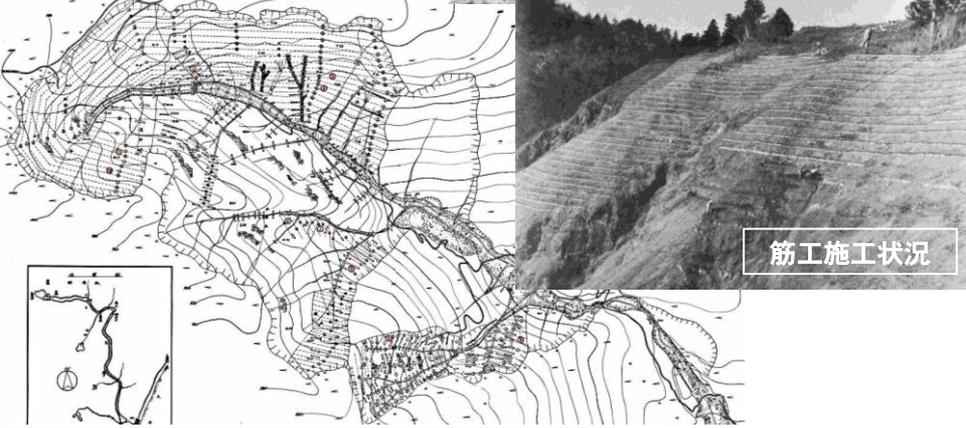
## ○施設・工法の概要

溪間工：空積堰堤工、練積堰堤工、玉石コンクリート堰堤工、護岸工外  
山腹工：空石土留工、方格枠土留工、蛇籠土留工、水路工、法切工、緑化工外

## ○解説

大道南山国有林に発生した崩壊は、宝永4年（1707年）の地震によるものと伝えられており、45haにおよぶ大崩壊で、通称「加奈木のつえ」と呼ばれています。当地区の復旧工事は、大正6年から41年間かけて実施され、当初の砂防植栽と云われた時代の工法から昭和30年代当時新工法と言われた工法までが網羅されており、溪間工、山腹工ともに治山工法の変遷や当時の積工の高い技術を伺い知ることができます。復旧工事は、昭和39年に完了し、現在は、植栽木の生育、郷土樹種の侵入により、溪床の安定とともに森林も回復しています。

この地域を含む室戸市全域は、室戸ジオパークとして平成23年9月に世界ジオパークに認定されており、「加奈木のつえ」は、地質遺産及び貴重な土木遺産として、ジオパークにおける22箇所の見所サイトの一つに指定されています。



筋工施工状況

問い合わせ先：四国森林管理局治山課 TEL：088-821-2150